

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県  
本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	3.1.1 その他、結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
個別事業名	子育てに係るポジティブイメージの浸透に向けたPR					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和7年度	
総事業費(A)(円)	17,894,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	17,894,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	17,894,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	17,894,000	0	0	0		17,894,000	
	対象経費支出予定額	17,894,000	0	0	0		17,894,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚・妊娠・出産・子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に強力に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 本事業は、子育てに対するポジティブなイメージの浸透に向けた施策であり、若年世代を中心に子育てに対するネガティブなイメージを抱くこととなった背景、影響を与えている者等の分析結果(R7実施)に基づき、ポジティブ情報への接触機会の増加、周知を行うとともに、支援情報の効果的な周知を行う。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	ポジティブイメージ浸透に向けたPR	令和7年度に実施した「子育てに係るポジティブイメージの浸透等に関する調査結果」を踏まえ、SNSを活用した情報発信を実施することとし、調査結果に基づくターゲットごとに有効と考えられる施策の方向性に基づき、市町等の多様な主体と連携しながら、地域全体にポジティブイメージが浸透するよう取組を進める。 具体的には、SNS上に少ない子育てに関する前向きな情報に触れてもらうきっかけづくりとして、日常にあるうれしいことや子供のかわいらしさ、子育ての幸福感などについて、SNSによる個人投稿を募集し、ユーザー間での拡散により、ポジティブイメージの浸透につなげる。					
<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt; ・令和7年度に実施した「子育てに係るポジティブイメージの浸透等に関する調査結果」において、「シングル・カップル」「家族」のターゲットごとに、子育てイメージの形成に関する要素が異なることから、それぞれのターゲットごとに施策を進めていく必要がある。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	キャンペーン参加者数	人	3,000 (R8)	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	結婚や子育てにポジティブなイメージを持っている若者の割合	%	53.0 (R8)	52.0 (R7)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県  
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名		乳幼児ふれあい体験及び当事者との意見交換				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和6年度	
総事業費(A)(円)		3,070,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 3,070,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		3,070,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	70,000	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	70,000	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	3,000,000	0	0	0		3,070,000	
	対象経費支出予定額	3,000,000	0	0	0		3,070,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通                      こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に強力に進める。                      取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                      本事業は、子育てに対するポジティブなイメージの浸透に向けた施策であり、若年世代に対して、乳幼児とふれあう機会を提供するとともに、子育て当事者との意見交換の場を提供する。</p>					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	若い世代への乳幼児とのふれあい体験の提供	高校生や大学生を対象に乳幼児とふれあう機会を提供し、若い世代に子育てに対するポジティブなイメージの浸透を図る。(学校等へ親子を派遣) 参加者計400人(20回×20人)					
	2	若い世代と子育て当事者の意見交換の場を提供	高校生や大学生を対象に子育て当事者から実際に意見を聞くなどの意見交換の場を提供し、若い世代に子育てに対するポジティブなイメージの浸透を図る。(意見交換会等の開催) 計5回開催					
		<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt;                      ・令和7年度に実施した「子育てに係るポジティブイメージの浸透等に関する調査結果」を踏まえ、カップルで参加できる回次を追加</p>						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ふれあい体験開催数	回	20 (R8)	12 (R7)
	②	当事者との意見交換開催数	回	5 (R8)	5 (R7)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8)	80 (R7見込み)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R8)	80 (R7見込み)
	④	ライフデザインマップの作成が自身のライフプランを考える機会となったと回答した者の割合	%	90 (R7)	—
	⑤				
	⑥				
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県  
本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	ライフデザイン啓発事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和7年度	
総事業費(A)(円)	3,906,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	3,906,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,906,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	3,906,000	0	0	0		3,906,000	
	対象経費支出予定額	3,906,000	0	0	0		3,906,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に強力に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 本事業は、子育てに対するポジティブなイメージの浸透に向けた施策であり、若年世代に対して、ライフデザインに関する知識と考える機会と各種経済的支援制度の情報を提供する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	特設サイトによる啓発	特設サイトにおいて、ライフデザインマップの作成や子育てに係る各種経済定期支援制度の情報、子育て等に係る費用シミュレーション機能等を掲載し、若年世代に対して、ライフデザインに関する知識と考える機会と各種経済的支援制度の情報を提供する。					
	2	広報	・Webバナー広告 若者が良く利用するSNSでWebサイト(ライフデザインマップ)に関する広告を展開し、特設サイトの認知を高めるとともに、就職・転職サイト等、将来について考えていそうな人へのアプローチを行う。					
<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt; ・令和8年3月にライフデザインに関する知識と考える機会と各種経済的支援制度の情報を提供するのための特設サイトの統合と費用シミュレーション機能の実装などのサイト改修を行った。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	Webサイトアクセス数	件	20,000 (R8)	18,536 (R6)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	特設サイトの認知率	%	25.3 (R7)	50.0 (R8)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県  
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進						
個別事業名	「共家事・子育て」の定着に向けたプロモーション				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和6年度	
総事業費(A)(円)	15,000,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 15,000,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	15,000,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	15,000,000	0	0	0		15,000,000
	対象経費支出予定額	15,000,000	0	0	0		15,000,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通                      こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に強力に進める。                      取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                      本事業は、「働きながら子育てしやすい県」に向けた施策であり、「共家事・子育て」の定着に向け、男性の家事・育児への参画促進に取り組むため、プロモーションを実施するもの。</p>					
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	プロモーション	男性が、家事・育児を実施する行動変容につながる施策を検討・実施する。 ～施策イメージ～ ・家事・育児促進に向けた県民参加型キャンペーン ・協賛企業募集 など				
<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt;                      ・個人だけへの働きかけだけではなく、企業とも連携した取組を実施                      ・育児休業中の男性を視野に入れたキャンペーンを展開するなど行動変容につながる取組を強化</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	イベント参加者数	人	3,000 (R8)	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	家事・育児を頑張っている男性の割合(パートナーによる評価)	%	70.0 (R11)	42.6 (R6)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県  
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		1.1.2 結婚支援ボランティア等に関する取組						
個別事業名		出会い・結婚支援こいのわ事業(ボランティアの育成等)				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 平成29年度	
総事業費(A)(円)		6,128,099		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 6,128,099	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		6,128,099						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	6,128,099	0	0	0	6,128,099		
	対象経費支出予定額	6,128,099	0	0	0	6,128,099		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通                      こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に強力に進める。                      取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                      本事業は、「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」で注力する結婚の実現に向けた施策であり、結婚の希望を叶えるために、出会いの場を提供するとともに、地域における支援者の育成に取り組むものである。</p>					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	ボランティアの育成等	○イベントでのおせっかいのみならず、効果的なイベント企画が可能となるような研修メニューを充実させる。 ○地域で活動する結婚支援団体(ひろしま出会いサポーターズ)も受講可能とし、ボランティア団体と個人ボランティアの連携を強める。 ○研修終了後にボランティアが自走できる仕組みを検討するため、日ごろの活動から得られた気づきや喜び、課題及びボランティアとしてできることなどを意見交換する。					
		<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt;                      ・ボランティアの育成などの結婚を支援する施策の実施にあたって、若者の結婚に関する意識を把握するため、令和7年度に結婚意識に関する調査を実施した。                      この調査で判明した若者が感じる結婚へのハードルなどの結果を、育成研修等で活用することで、令和8年度にも引き続きボランティアの質の向上を図る。                      ・新規のボランティアを獲得することを目的として、令和7年度に新たにボランティアの募集に関する広報に取り組み、多くのボランティアを獲得することが出来たことを踏まえ、令和8年度も引き続きボランティアの獲得に努める。</p>						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	サポートセンター会員数	人	18,484 (R8)	18,320 (R7)
	②	ボランティア等研修の参加人数	人	150 (R8)	80 (R7)
	③	こいのわサイトアクセス数	件	622,312 (R8)	534,861 (R7)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8)	86 (R6)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④				
	⑤				
	⑥				
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

Table with multiple sections: 事業メニュー (ライフデザイン・結婚支援重点推進事業), 区分 (一般メニュー), 個別事業名, 実施期間 (令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日), 総事業費 (4,500,000), 費用内訳 (諸謝金, 賃金, 報償費, 旅費, 需用費, 役務費), 自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け, 個別事業の内容 (結婚に関するポジティブなイメージの浸透).

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	サポートセンター会員数	人	18,484 (R8)	18,320 (R7)
	②	ボランティア等研修の参加人数	人	150 (R8)	80 (R7)
	③	こいのわサイトアクセス数	件	622,312 (R8)	534,861 (R7)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8)	86 (R6)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県

本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1.1.1 結婚支援センターに関する取組							
個別事業名	出会い・結婚支援こいのわ事業(出会い・結婚支援センターの運営支援)				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成29年度	
総事業費(A)(円)	11,289,587		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	11,289,587	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	11,289,587							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	0	0	0	11,289,587		11,289,587	
	対象経費支出予定額	0	0	0	11,289,587		11,289,587	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に強力に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 本事業は、「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」で注力する結婚の実現に向けた施策であり、結婚の希望を叶えるために、結婚支援事業の基盤となる結婚支援センターの運営を支援するものである。 なお、本事業については、県100%出資法人である公益財団法人ひろしまこども夢財団への補助により実施する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	結婚支援センターの運営補助	<p>会員の結婚の希望を叶えられるようにするため、結婚支援センターによる以下の取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センターWebサイトへのイベント掲載による会員に向けた情報発信</li> <li>・会員数の増加及びセンター認知度向上のための周知広報(Web広告)</li> <li>・会員数の増加及びセンター認知度向上のための民間事業者・企業への営業活動(資料をメール・郵送により送付)</li> </ul> <p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt; ・20代の会員や婚活イベント参加者が少ないことが課題となっていることを踏まえ、令和7年度に、結婚支援センターや婚活イベントの認知度向上を図るため、20代が多く利用するInstagramによる広報やアプリを活用したイベント・大型イベントの実施など、取組を見直し、多くの20代会員及び参加者を増やすことが出来た。 ・このことを踏まえ、令和8年度も20代の会員及びイベント参加者の獲得に努める。</p>					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	サポートセンター会員数	人	18,484 (R8)	18,320 (R7)
	②	ボランティア等研修の参加人数	人	150 (R8)	80 (R7)
	③	こいのわサイトアクセス数	件	622,312 (R8)	534,861 (R7)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8)	98 (R6)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県  
本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	3.1.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
個別事業名	不妊治療に係る理解促進					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成28年度	
総事業費(A)(円)	14,090,382		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	14,090,382	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	14,090,382							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	8,506,102	0	489,100	393,940	1,136,240	
	対象経費支出予定額	0	8,506,102	0	489,100	393,940	1,136,240	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	3,565,000	0	0	0		14,090,382	
	対象経費支出予定額	3,565,000	0	0	0		14,090,382	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に強力に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 本事業は、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」の実現に向けた施策であり、不妊治療助成制度の周知を行うとともに、利用促進を促すものである。 また、若年世代からの妊娠・出産等に関する正しい知識の普及啓発を図るものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	プロモーション	妊娠・出産に伴うリスクが低く、かつ出産に至る確率が高いとされる若年世代の夫婦が早期に夫婦そろって不妊検査をすることを促すため、「妻のみ不妊検査・治療を行っている夫婦」や「子供が欲しいが不妊検査を行っていない夫婦」に対し、特設サイトやWEB広告、リーフレット等を活用し、受診促進を図るもの。					
<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt; 今年度実施している広報の結果を踏まえ、WEB解析を行い、より効果的なWEB媒体や配信タイミングを検討する。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	WEB広告等からのサイト流入数	件	97,000 (R8年度)	97,058 (R7年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	サイト流入者のうち、サイトでの診断実施数	件	5,000 (R8年度)	5,008 (R7年度)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県  
本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	3.2.2 地域全体で結婚・子育て、子育てと仕事の両立と多様な働き方を応援する気運醸成							
個別事業名	ひろしま子育て応援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)				継続		
実施期間	令和8年4月1日	~	令和9年3月31日	事業開始年度	平成18年度			
総事業費(A)(円)	38,970,187	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	38,970,187			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	33,102,931							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	2,051,700	8,684,164	0	1,744,678	1,957,000	26,500	
	対象経費支出予定額	2,051,700	4,756,654	0	1,581,598	195,736	11,098	
	対象外経費支出予定額	0	3,927,510	0	163,080	1,761,264	15,402	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	19,890,845	59,220	0	4,556,080		38,970,187	
	対象経費支出予定額	19,890,845	59,220	0	4,556,080		33,102,931	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		5,867,256	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7~R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に強力に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 本事業は、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」に向けた施策であり、「子供の未来みんなで応援プラン」の推進に取り組むとともに、子育て家庭が子供を連れて外出しやすい環境の整備に取り組むものである。</p> <p>※子育て支援パスポート(イクちゃんサービス):店舗や施設で妊婦~18歳未満のこどもや子育て家庭に優しいサービスを受けられ、地域全体で子育てを応援する取組み</p>						

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	子育て環境改善事業(参加企業開拓、子育て家庭への周知、オンラインを活用した子育て支援)	・親子で出かけやすい環境を整えるため、県内企業・大型商業施設等への訪問、チラシ配布、電話等による個別企業へのアプローチを行い、子育て支援パスポート(イクちゃんサービス)参加企業開拓を実施する。 ※企業への訪問に係る旅費を計上 ・地域情報誌等を活用し事業の広報を図るとともに、SNS、webサイトを活用して参加店舗情報やサービス概要について周知する。 ・親子で参加できる子育てイベントへ出展し、子育て支援パスポート(イクちゃんサービス)のチラシ配布等により周知を行う。 ※イベント運営に係るスタッフの旅費を計上。 ・希望する市町への端末貸与等オンラインを活用した相談等の支援をする上で必要となる環境整備を行うとともに、子育て支援者向けの研修を行うことで子育て家庭と地域がつながる支援を行う。
	2	子育てポータルサイト運営事業(サイトの保守管理、情報発信、ニーズ調査による改修)	・広島県の子育てポータル「イクちゃんネット」を通じて、子育てに関する正しい情報を継続的に発信していくための、適切な更新や管理を行うとともに、各種SNSの運営やコンテンツの充実を図り、子育て当事者を中心に、イベント情報や支援情報、子育て支援パスポート登録店(イクちゃんサービス参加店登録)の情報などを発信する。
	3	思いやり駐車場	妊娠・子連れなどによって車の乗降や歩行の困難な方が、安心してりようできるように設けられた専用の駐車スペース(思いやり駐車場)を設置し、地域全体で子育て等に温かい社会づくりを目指す ・協力施設の募集、登録 公共施設やショッピングセンターに対して、思いやり駐車場を募集し、登録する。 ・利用証の発行 利用証を作成し、制度対象者へ交付する。 利用証作成数: 16,000枚 利用者数(R7.9時点) 121,961人 (妊産婦: 23,097人、その他: 98,864人)
	4	子供の未来みんなで応援プランの推進	子供の未来みんなで応援プランの推進に関する会議を、事業者や労働組合、NPO、市民団体、民間保育施設等の代表者を委員として開催する。プランに掲載した事業を推進することで、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、多様な主体を巻き込みながら、社会全体で取組を進める。また、そうした取組を広報紙やホームページ等で発信していくとともに、子供・子育てを応援する気運を醸成する講演会の開催も行う。1回開催 1,000人参加想定。
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・イクちゃんサービス参加登録店舗増につながるよう企業開拓を引き続き行う。			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	イクちゃんサービス登録店舗数	店舗	7057 (R8)	6,784 (R8.2月末)
	②	イクちゃんサービスの認知度	%	67 (R8)	72.5 (R7)
	③	子育てイベント出展ブースへの参加組数	組	850 (R8)	823 (R7)
	④	思いやり駐車場利用証の年間発行数(妊産婦)	枚	7911 (R8)	7601 (R7)
	⑤	(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8)	92 (R6)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	思いやり駐車場の県内妊産婦の普及率	%	50 (R8)	48.5
	⑤				
	⑥				
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県  
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		3.2.1 自治体間連携を伴う結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成					
個別事業名		ひろしまネウボラ構築事業				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和8年4月1日		~	令和9年3月31日		事業開始年度 平成29年度
総事業費(A)(円)		16,877,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 16,877,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		16,877,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	2,868,000	359,000	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	2,868,000	359,000	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	13,650,000	0	0	0		16,877,000
	対象経費支出予定額	13,650,000	0	0	0		16,877,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその本個別事業の位置付け		<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通                      こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7~R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に強力に進める。                      取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                      ・子育てに関する不安や負担を軽減し、子供を希望する人が安心して妊娠・出産・子育てできる環境整備に向けて、市町のネウボラ拠点と地域の関係機関が連携することにより、妊婦や子育て家庭の不安や悩みに寄り添い、見守り、支援する「ひろしまネウボラ」の仕組みを構築する。                      ・ひろしまネウボラのあるべき機能や体制について整理した「基本型」を実施する市町に対して、効果検証データの提供や人材育成研修の実施、市町独自の取組に係る財政支援(補助金)等の支援を行い、市町とともに「子育てしやすい広島県」の実現を図る。</p>				
番号	項目	内容					
	1	市町担当者制に基づく実施市町の伴走支援及び未実施市町への働きかけ ・子供未来応援課ネウボラ推進グループで県内23市町を分担して担当することで、市町の事業担当者との顔の見える関係づくりを行い、市町ごとの課題の把握及び解決に向けた支援を行う。また県として目指す方向性や広域的に実施すべき取組に関する意見の収集等を行い、更なる機能強化につなげる。 ・ひろしまネウボラの全県展開を目指し、未実施市町に対しても担当者が継続してコンタクトを取ることで、ひろしまネウボラの実施に向けたボトルネックの把握及び解消を行う。 ・取組内容や評価検証結果については、担当者が各市町を直接訪問し個別に説明、意見交換をするほか、連絡会議を年1回程度開催する。 ○「ひろしまネウボラ」実施市町数(県内市町数:23市町) R6年度:18市町 R7年度:21市町 R8年度:22市町					

個別事業の内容	2	評価検証の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろしまネウボラの効果検証の指標とするため、「CS(利用者満足)調査」及び「ネウボラ県民意識調査」を実施する。収集データは県の事業評価及び今後の取組検討に活用するほか、全県データとも比較可能な形で市町にフィードバックすることで市町のPDCAサイクルの実施に役立てる。</li> <li>○CS(利用者満足)アンケート</li> <li>・主に初期アウトカム(個別の窓口利用における満足感)を測る調査。</li> <li>・各市町の母子保健、子育て支援窓口に設置したQRコードを利用者自身のスマートフォンで読み込みアンケートフォームに入力してもらうことで、相談対応の満足度、施設の満足度、再利用意向等のデータを収集する。</li> <li>・収集したデータは月次で各市町にフィードバックして取組の改善に役立てるほか、県で指標間の相関等を分析を行い事業評価に活用する。</li> <li>○ネウボラ県民意識調査</li> <li>・主に中期～長期アウトカム(不安や悩みが生じた際の相談相手、ひろしまネウボラのビジョンへの共感度等)を測る調査。</li> <li>・年1回アンケートモニター調査(1,000サンプル程度)を実施する。</li> <li>・調査結果は主に県の事業評価及び今後の取組検討に活用する。</li> </ul>
	3	ひろしまネウボラ人材育成研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材育成研修</li> <li>・ネウボラ業務の質の向上を図るため、母子保健や子育て支援業務に従事しているネウボラ相談員向けの研修等を実施する。</li> <li>・オンライン研修(オンデマンド配信型、約20講義、ネウボラ相談員約250人が対象)</li> <li>・対面研修(集合型、グループワークや参加者同士の情報交換を合わせて年2回、ネウボラ相談員各回30人が参加予定)</li> <li>○人材育成ガイドライン改訂</li> <li>・これまでの研修内容や市町のネウボラ相談員の意見を参考に、実用的なマニュアルを作成し、ガイドラインに追記する。また、市町のネウボラ相談員が、日々の業務の中で参照できるよう、面談時のポイントや現場の知恵、基本的な対応時の考え方などの要素を加えることを検討している。</li> <li>○インナーブランディング研修</li> <li>・人材育成研修にインナーブランディングを取り入れ、ネウボラ相談員に対してひろしまネウボラの価値や目的の浸透を図ることにより、価値や業務の目的を意識しながら利用者に対応ができるよう研修を実施する。</li> </ul>
	4	初めてのパパママサポートモデル事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一子妊娠期の妊婦や子育て家庭に対し、面談や電話の回数を増やし、不安や悩みに寄り添い、支援する取組を福山市においてモデル的に実施する。</li> <li>・ネウボラ相談員の関わりにより、妊産婦との信頼関係を構築し、妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるようにすることを目標にR8から2年間実施する。</li> <li>・支援モデル群と非モデル群それぞれ100世帯において、妊娠初期と事業終了時にwebアンケートを実施し、「安心して妊娠出産子育てができると思うか」などの指標推移のデータを収集して評価する。</li> </ul>
	<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「面談回数は切れ目なく実施されているが、一層信頼感を得るために、より利用者視点に立った面談対応が必要ではないか」という課題に対して、インナーブランディング研修と初めてのパパママサポートモデル事業を実施する。</li> </ul>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R6)	
	婚姻件数		件	10,099 (R6)	
	婚姻率			3.8 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	ひろしまネウボラの実施市町数	市町	22 (R8年度)	21 (R7年度)
	②	ひろしまネウボラ人材育成研修(オンライン研修)受講登録者数	人	300 (R8年度)	295 (R6年度)
	③	ひろしまネウボラ人材育成研修(対面研修)受講者数	人	60 (R8年度)	57 (R6年度)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	76.0 (R8年度)	72.5 (R5年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	育てにくさを感じたときに相談先を知っているなど何らかの解決方法を知っている者の割合(3つの健診時の平均:全市町)	%	74.0 (R8年度)	71.0 (R5年度)
⑤	研修受講者のうち「研修の内容が自身の業務に活用できているか」に対して「そう思う」と回答した者の割合(5択中のTop1)	%	60 (R8年度)	58 (R6年度)	
⑥	研修受講者のうち「自身の業務にやりがいを感じられるか」に対して「そう思う」と回答した者の割合(5択中のTop1)	%	50 (R8年度)	48 (R6年度)	